

株式会社 群馬銀行

個人投資家さま向け会社説明会

2023年9月21日

代表取締役頭取 深井 彰彦



目次

群馬県の魅力を再認識	1 頁	株価推移	9 頁
店舗ネットワーク	3 頁	当行のバリュエーション	10 頁
預貸金の状況	4 頁	デジタル戦略と利便性の向上	11 頁
収益性・健全性の状況	5 頁	法人のお客さまへの取組み	12 頁
メインバンクシェア	6 頁	外部連携の取組み	13 頁
株主還元	7 頁	地域のサステナビリティへの取組み	14 頁
株主優待制度	8 頁	地域商社の取組み・社会貢献活動	15 頁
		ガバナンス	16 頁

群馬県の魅力を再認識

群馬県の主な特徴

発達した交通網～東京から約100kmに位置～

豊富な水資源（首都圏の水がめ）

ものづくりと世界に誇る技術力

“首都圏の台所”として多彩な農業を展開

魅力ある地域資源

● 日本を代表する温泉王国

- 温泉地の数は90か所と関東で1位、全国では8位
（出所：環境省 令和3年度温泉利用状況より）
- 草津温泉は「にっぽんの温泉100選（22年度）」で20年連続1位

● 再生可能エネルギーの宝庫

- 豊富な水資源を活かした「水力発電」の最大出力は全国6位
（出所：環境省 令和3年度温泉利用状況より）
- 全国有数の日照時間を生かした「太陽光発電」



低い地震災害・水害リスク ～群馬県への企業進出を促進～

- 100年で震度4以上は76回と地震が比較的少なく、工場や物流拠点施設等の産業施設の立地に有利な条件を備える。

➤ NTTや日本ミシュランタイヤが本社機能を移転。「大阪王将」ブランドを展開するイートアンドフーズが日本最大級の主力製造工場を新設。

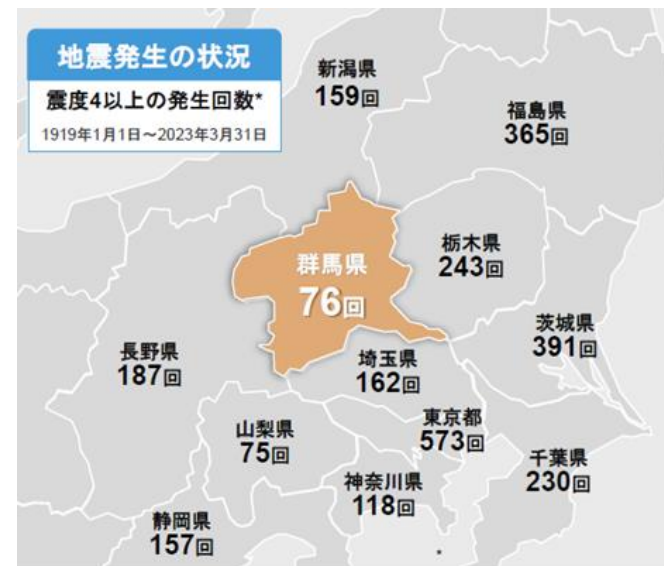
- 群馬県の過去10年間（2011年～20年）の水害被害額は560億円と、全国平均額1,577億円及び関東平均額1,601億円を大きく下回っている。出所：国土交通省 令和2年水害統計調査より

恵まれた日照時間

- 年間の日照時間の長さが全国第5位と上位に位置。
降雪量も平野部では比較的少なく、恵まれた気象条件を有している。



出所：群馬県「群馬県のIR資料(令和5年6月)」
群馬県産業経済部「ぐんまがいちばん! (令和3年3月)」



群馬県の魅力を再認識

群馬県の主要データ

出所：群馬県「群馬県のIR情報(令和5年6月版)」
「2019年度 群馬県県民経済計算」



工場立地件数 全国順位

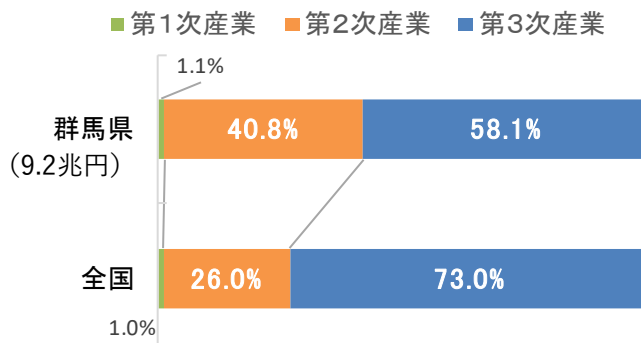
2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
2位	2位	4位	4位	4位	6位

出所：経済産業省「2022年工場立地動向調査の結果について」

群馬経済を牽引する製造業

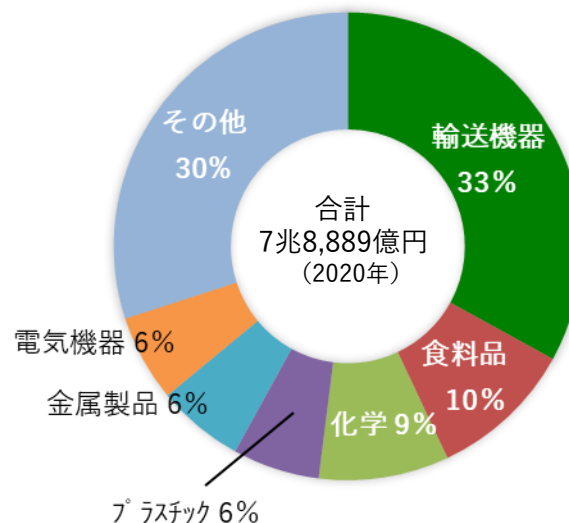
産業別名目県内総生産 (2019年度)

県内総生産9.2兆円のうち、**約4割が第2次産業**
群馬県は全国で見ても第2次産業の割合が高い



製造品出荷額等の内訳

輸送機器が大きな割合を占める



輸送用機械生産比率

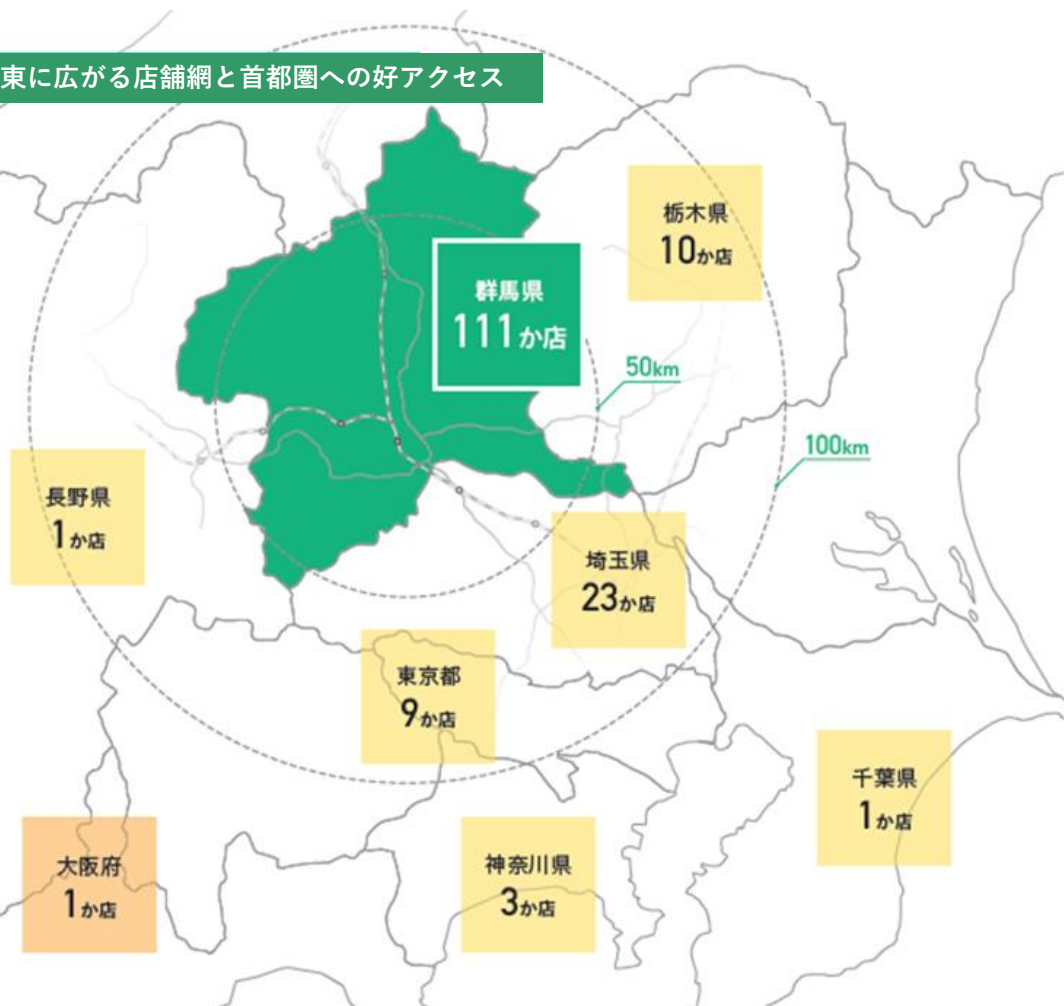
県内総生産に占める輸送用機械
生産額の割合は**全国2位**と高い

順位	都道府県	生産比率
1	愛知県	16.4%
2	群馬県	10.3%
3	静岡県	9.6%
4	三重県	6.1%
5	広島県	5.9%
6	岐阜県	4.5%
7	栃木県	4.4%
8	山口県	4.0%
9	茨城県	4.0%
10	岡山県	3.8%

※2019年度データ

国内拠点 159店舗

関東に広がる店舗網と首都圏への好アクセス



(2023年3月末現在)

海外拠点

● ニューヨーク支店

地銀でNY支店を有するのは
当行、千葉銀、静岡銀の3行のみ



● アジアに4駐在員事務所

香港



上海



バンコク

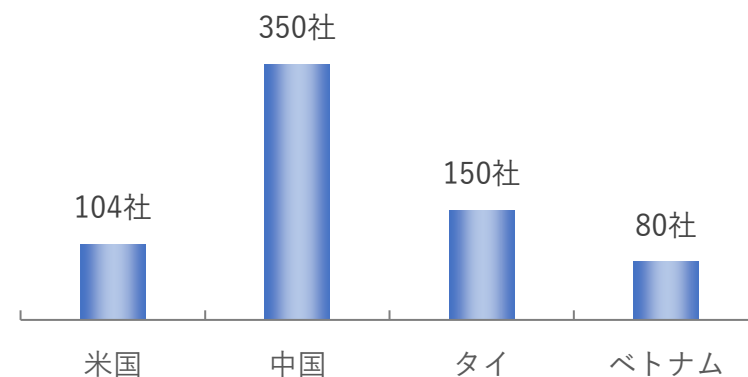


ホーチミン



地域企業の海外事業支援強化

※当行と取引のある海外進出先数（地元取引先）



預貸金の状況（規模）

預金等（※）残高の推移

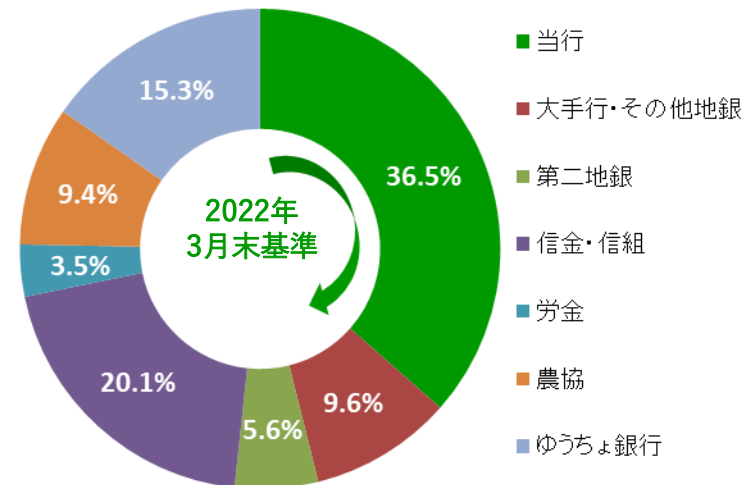
※「預金と譲渡性預金」を合計した資金量。

5年ごとの残高推移



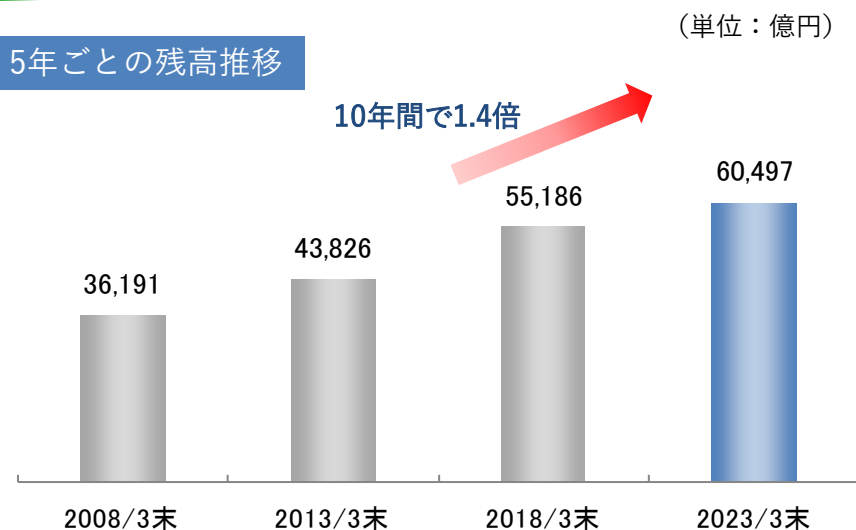
地銀62行中
第12位

群馬県内の預金シェア



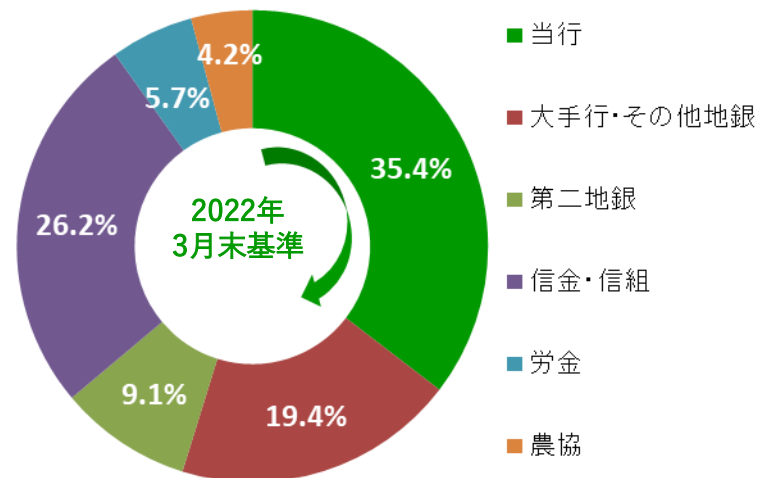
貸出金残高の推移

5年ごとの残高推移



地銀62行中
第11位

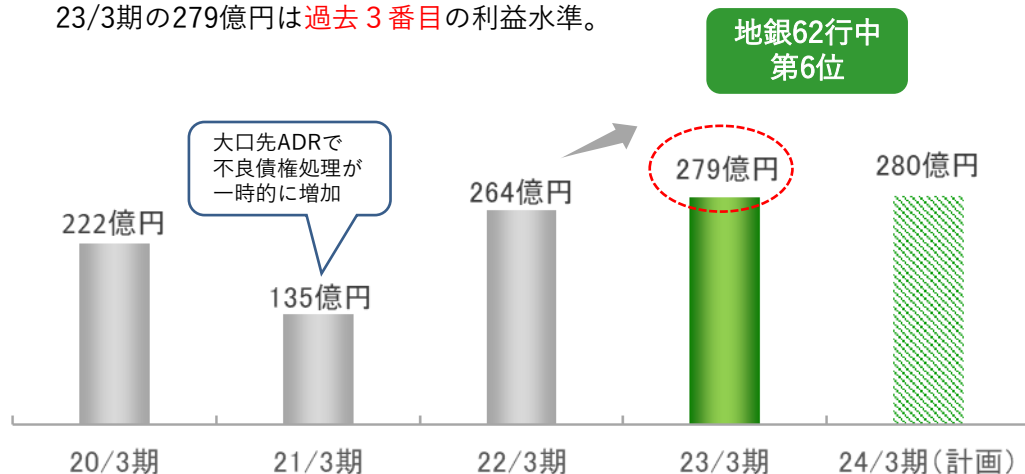
群馬県内の貸出金シェア



収益性・健全性の状況

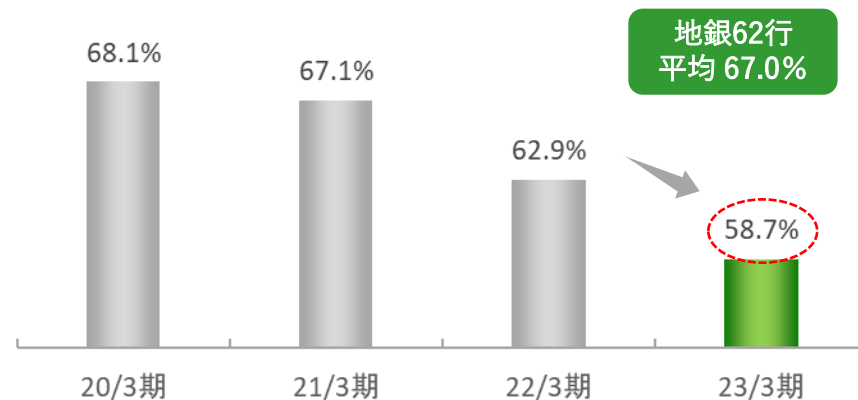
連結当期純利益の推移

23/3期の279億円は過去3番目の利益水準。



コアOHR（単体）の推移

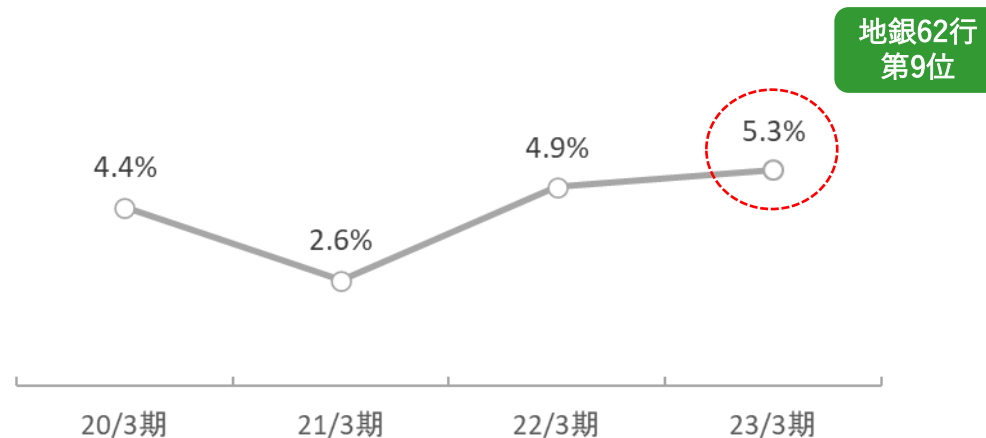
経費を業務粗利益で除したもので銀行業務の効率性を示す指標。低いほど効率性が高いことを示している。



※コアOHR = 経費 ÷ (業務粗利益 - 国債等債券関係損益 - 投信解約損益)

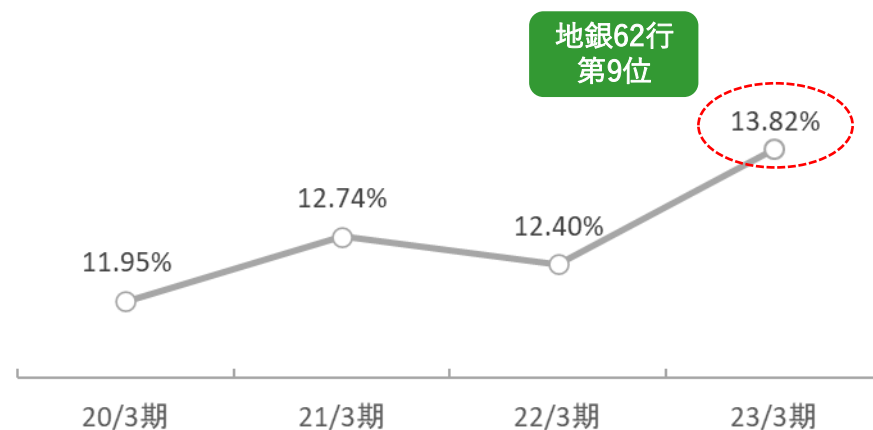
ROE（連結）の推移

株主が出資をした資金を元手に企業がどれだけの利益を上げているかを表す指標。数値が高いほど経営効率が良いと言える。



自己資本比率（連結）の推移

銀行の自己資本を分子、リスクの大きさを分母とする健全性を表す比率。国際的に活動する銀行には8%以上が求められている。

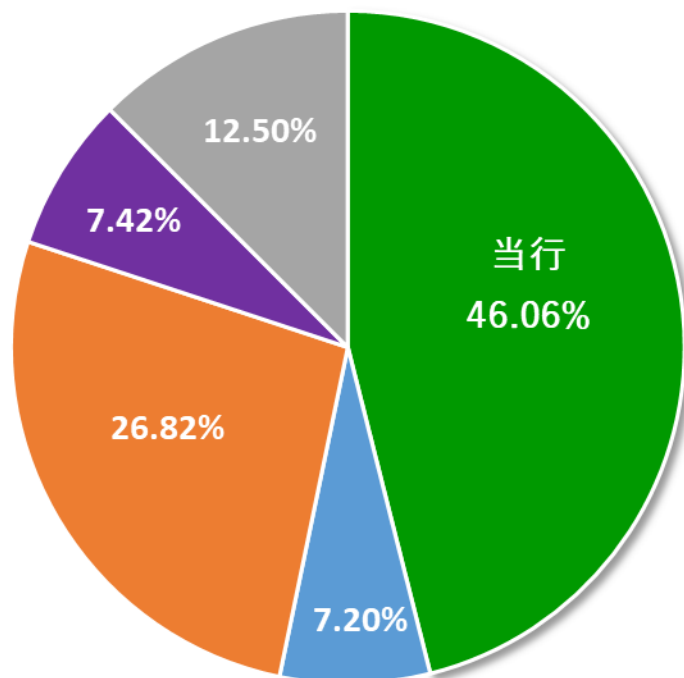


メインバンク動向調査 (2022年)

- ▶ 当行のメインバンク社数の群馬県内シェアは
46.06%と圧倒的

群馬県内シェアNo.1

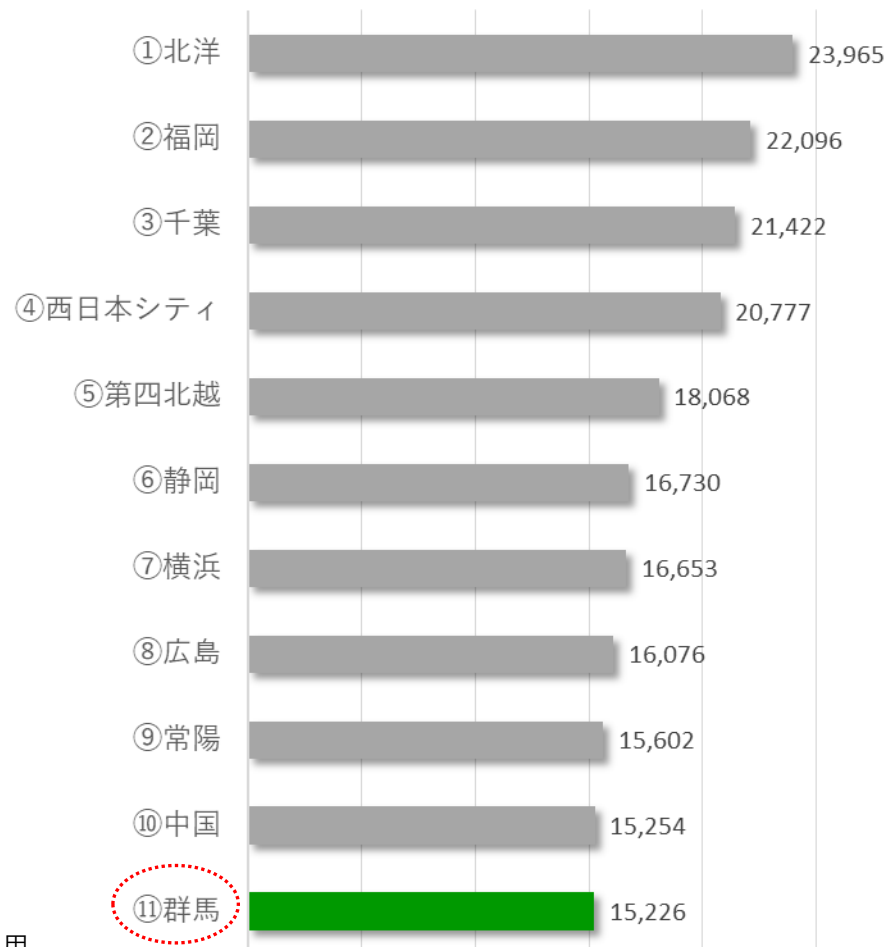
■ 当行 ■ 第二地銀 ■ 信金 ■ 信組 ■ その他（メガ等）



▶ 全国メインバンク社数 ～地銀比較～

全国地銀のうち11位 (15,226社) と高水準

(単位：社数)



株主還元

- 配当と自己株式取得を合わせた前期の株主還元率は51.4%
- 今期の1株当たり配当金は前期比2円増配し年間20円（3期連続増配）

株主還元方針

地域金融機関として自己資本の充実に努めるとともに収益性や成長投資とのバランスを考慮し、株主還元の拡充を目指します。
具体的には、安定的配当と自己株式取得額を合わせた株主還元率は、**親会社株主に帰属する当期純利益の40%**を目安とします。

配当

今期の配当予想は2円増配

	中間	期末	合計
2021年度	7円	7円	14円
2022年度	8円	10円	18円
23年5月公表	10円	10円	20円

自己株式取得

前期は69億円の自己株式取得を実施

- ・機動的な資本政策の遂行および資本効率の向上を通じて株主利益の向上を図る

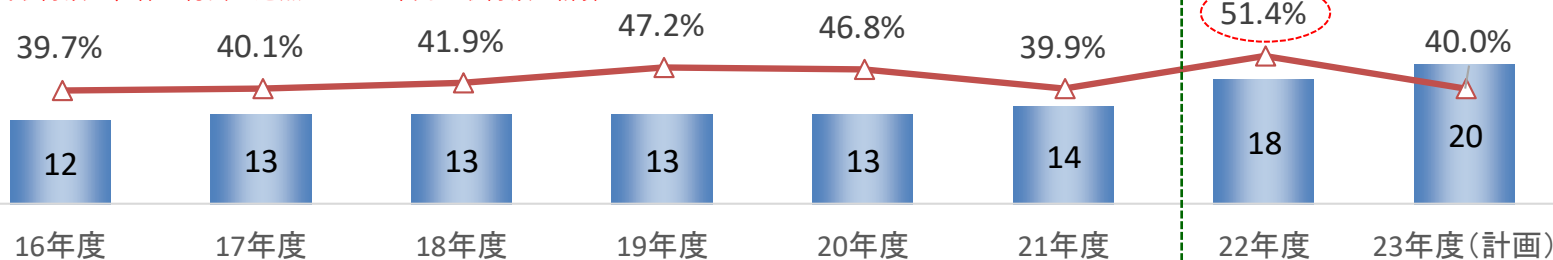
取得株式総数	14.2百万株
取得総額	69億円
取得方法	立会外取引及び市場買付

株主還元の実績

■ 1株当たり配当金(円) ▲ 総還元率

単体ベース 連結ベース (22年度～)

※還元率算出における自己株式取得額は、株主総会を起点とする1年間の取得額で計算



(単位:億円)

総還元額	100	104	87	84	54	93	143	(112)
配当総額	53	56	55	54	54	58	73	(80)
自己株式取得額	46	47	32	30	—	34	69	(32)
単体当期純利益	252	260	209	179	116	233	246	250
連結当期純利益	263	283	233	222	135	264	279	280
連結配当性向	20.2%	19.9%	24.0%	24.6%	40.4%	22.1%	26.4%	29.0%

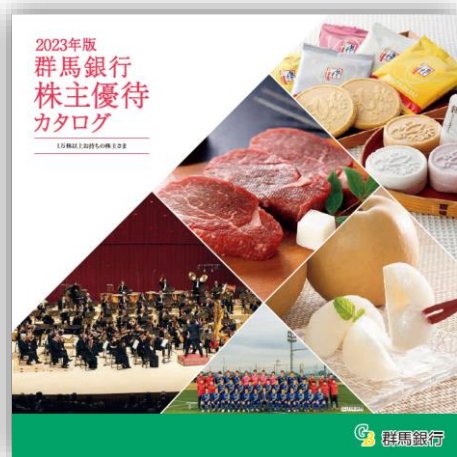
▶ 対象となる株主さま

毎年**3月31日**を基準日とし、株主名簿に記載される**1,000株以上**お持ちの株主さま。

1,000株以上	5,000株以上	10,000株以上
2,500円相当	4,000円相当	6,000円相当

▶ 充実したラインナップのカタログ

群馬銀行による“群馬県を中心としたカタログ”とTSUBASAアライアンスによる“共同カタログ”のいずれかからお選びいただけます。



銀行ごとに2商品（合計12個）掲載。
全国の名産品を選べる楽しみ。

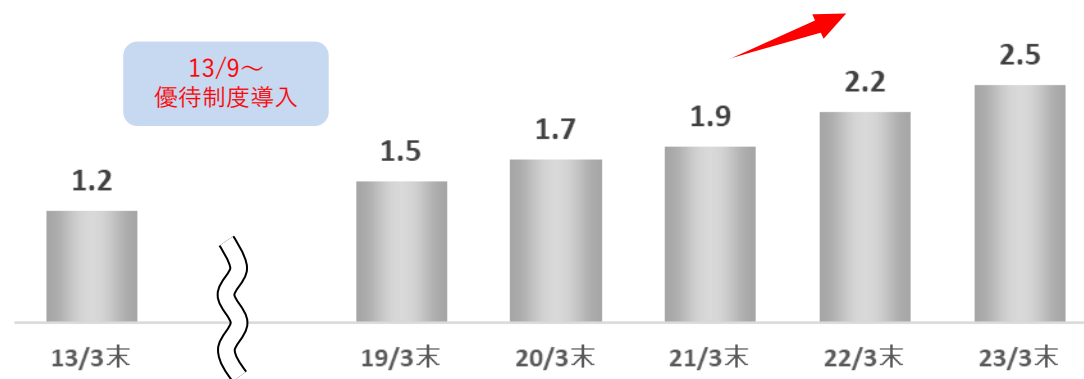


掲載する特産品は50商品以上。
数ある地域の特産品から選ぶ
楽しみ。

▶ 個人株主数の推移

- 2013年9月に株主優待制度導入
- 足元の個人株主数は導入時の**2倍以上**に増加

（単位：万人）



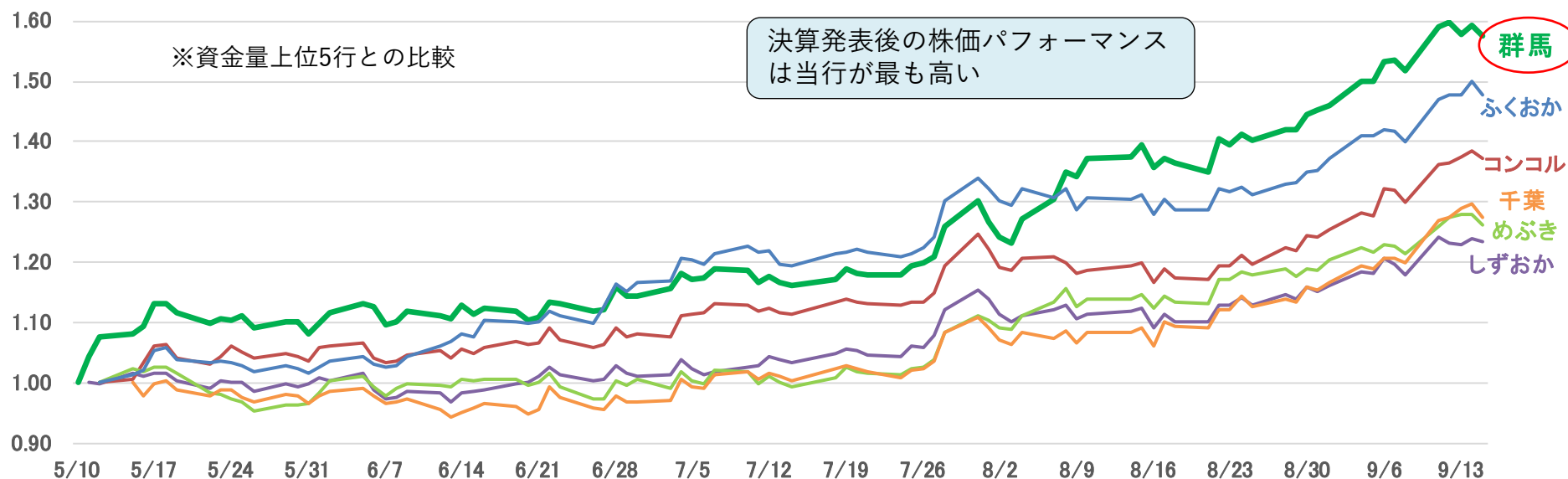
▶ 申込件数トップ5

順位	優待品
1位	梨
2位	りんご
3位	赤城牛（しゃぶしゃぶ用）
4位	ハンバーグ（上州牛）
5位	群馬県産コシヒカリ

※2023年3月末基準（2,500円コース）



▶ 地銀株価推移（2023年3月期の決算発表日を起点）



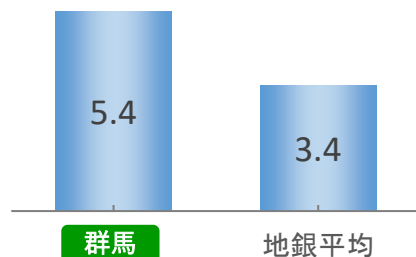
▶ 長期金利と当行株価（YCC導入時からの推移）



■ 上場地銀平均との比較 (2023年9月14日時点の株価で試算)

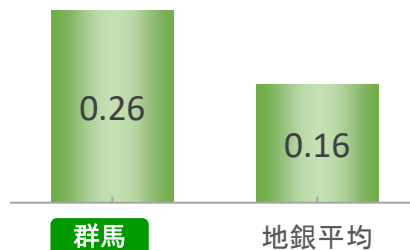
ROE = 純利益 ÷ 純資産
数値が高いほど経営効率が良い

■ ROE (%)



ROA = 純利益 ÷ 総資産 (総資本)
総合的な収益性の財務指標

■ ROA (%)



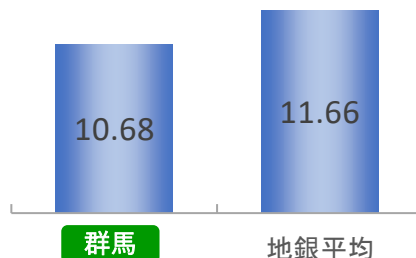
PBR = 株価 ÷ 1株当たり純資産
東京証券取引所はPBR 1倍割れを改善要請

■ PBR (倍)



PER = 株価 ÷ 1株当たり純利益
PERが低いほど株価は割安

■ PER (倍)



収益性は高いがPERは他行比割安
⇒ 株式益回り 群馬9.3%
地銀平均8.5%

配当利回り = 1株あたり配当金 ÷ 株価
株価に対する年間配当金の割合を示す指標

■ 配当利回り (%)



株価上昇基調のため足元の
配当利回りはやや低下

(ご参考：9月14日株価)
投資額 = 736,000円 (736円 × 1,000株)
年間配当 = 20,000円 (税引前) + 株主優待

※地銀平均は全国の上場地銀74行平均
※純利益は24/3計画ベース、純資産は23/3末実績で試算。

デジタル戦略と利便性の向上

▶ ぐんぎんアプリ

- 24時間365日銀行取引可能、シンプルで使いやすく安心のセキュリティ⇒1年間で利用者は15万人以上
- 最も身近な個人向けチャネル
⇒ 税公金収納や引落予定明細表示等の機能追加
⇒ 投資信託取引（23年9月）、電子交付（24年度）の機能を追加

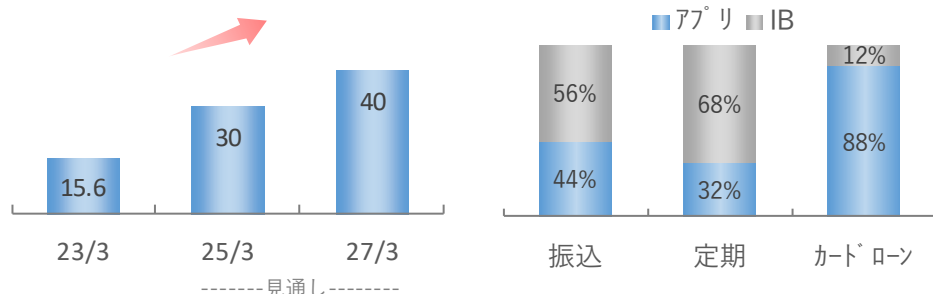


【アプリ利用者】

(単位:万人)

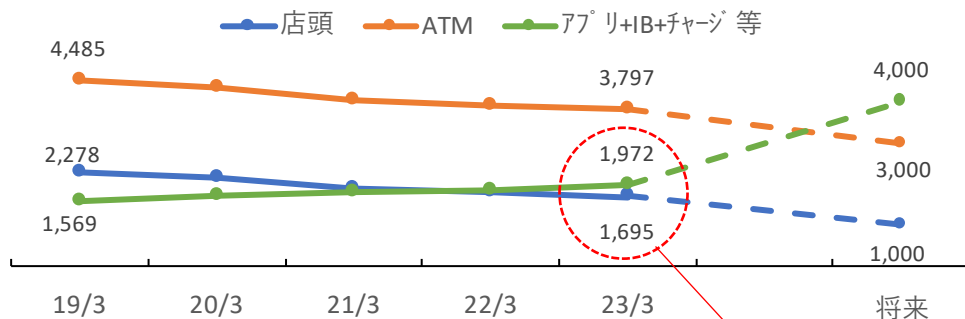
【取引ごとの割合】

(23/3末時点)



チャネル別取引件数

- 今後はアプリ等のデジタルチャネルが接点の中心に



非対面が店頭を上回る

▶ 相談拠点「個人相談プラザ」の拡充

- 「前橋」・「高崎」・「伊勢崎」・「EAST」の4店舗で、平日にご来店が難しい資産形成層をはじめとしたお客さまの資産運用や保険の相談に応じる。
- 取扱い業務
 - ・ ローンのご相談・申込受付、保険のご相談・申込受付、資産運用・資産形成等のご相談・取次、相続に関するご相談・申込受付。
- メリット
 - ・ 平日15時過ぎや土日も営業
 - ・ 事前の予約で待ち時間なし
 - ・ 安心の個室ブースあり
 - ・ キッズスペース完備



前橋市
個人相談プラザ前橋



伊勢崎市
個人相談プラザ伊勢崎



高崎市（22年12月移転）
個人相談プラザ高崎



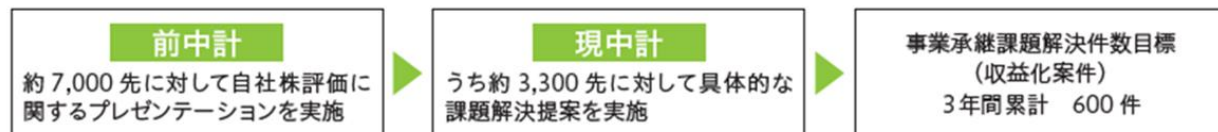
邑楽郡大泉町
個人相談プラザEAST



法人のお客さまへの取組み

▶ 事業承継支援

- 技術の伝承、サプライチェーンの維持、雇用の継続等の地域企業の事業承継に係る課題へ対応。
- 営業店と本部、グループ会社が協働し、取引先企業の事業承継・M&Aニーズの把握に努め、外部提携先とも連携しながら適切な提案・アドバイスを実施。アライアンスも活用。



【事業承継課題解決件数】



▶ 金融支援

- お取引先に対する経営改善計画策定に関する支援や助言の実施。
中小企業活性化協議会等の外部機関とも連携し、支援の実効性を高めている。
- グループ会社とも連携し、再生ファンドや資本性借入金などの手法を活用した抜本的な再生支援にも取り組む。



▶ 本業支援

- **ビジネスマッチング**
⇒ 販路拡大やビジネスパートナーの発掘などのビジネスニーズに対し、当行のネットワークを活用。
- **人材紹介**
⇒ 地域企業の人手不足・後継者難、事業環境への対応等の経営課題解決を人材確保の面から支援。ニーズの高い「経営幹部・管理職・専門職・技術職等」を中心に取組む。
- **補助金サポート**
⇒ 経営革新等支援機関として補助金申請書作成支援、利子補給金申請などの支援に取組む。

【ビジネスマッチング成約件数】



【人材紹介成約件数】



外部連携の取組み

▶ 自動車産業支援への連携

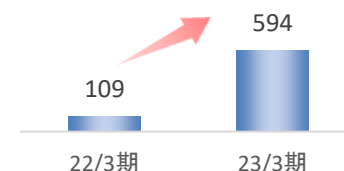
- 地銀7行（広島、横浜、山形、足利、静岡、名古屋、当行）で「自動車産業支援の高度化に向けた覚書」を締結。
⇒ 各地域でのEV関連の開発やカーボンニュートラルの取組み等の脱炭素化情報を共有し、取引先企業に提供。

▶ りょうもう地域活性化パートナーシップ

- 足利銀行と両毛地区を中心とした「地域の産業活性化・課題解決」等に向けた連携。
⇒ シンジケートローン、事業承継やM&A支援など本業支援における連携、両行の投資専門子会社等を活用した地域企業の支援。

りょうもう
地域活性化
partnership

融資等（※）累計額の推移



▶ TSUBASAアライアンス

- 北海道から沖縄までの地域の**トップバンク10行**による広域連携。
⇒ 参加行の連結総資産合計は**94兆円**とメガバンク3行に次ぐ規模。
- トップラインの増強、コスト削減等により**5年間累計で100億円**の収益効果を見込む。

主な提携内容

- ◆ 各種ファイナンスの共同組成
- ◆ 事務、システムの共同化
- ◆ お客さま同士のマッチング
- ◆ お客さま向けセミナーの共同開催
- ◆ 役職員を対象とした研修の共同実施



▶ 群馬・第四北越アライアンス

- 新潟県を営業基盤とする**第四北越銀行**とのアライアンス
⇒ 群馬・新潟両県の持続的成長に向けた地方創生に連携して取組む。
- 第四北越銀行高崎支店と当行高崎田町支店の**共同店舗設置**
⇒ 当支店で株式会社ブリッジにいがたによる「新潟物産展」を開催。



群馬・第四北越 アライアンス



地域のサステナビリティへの取り組み

▶ サステナブルファイナンスの進捗状況

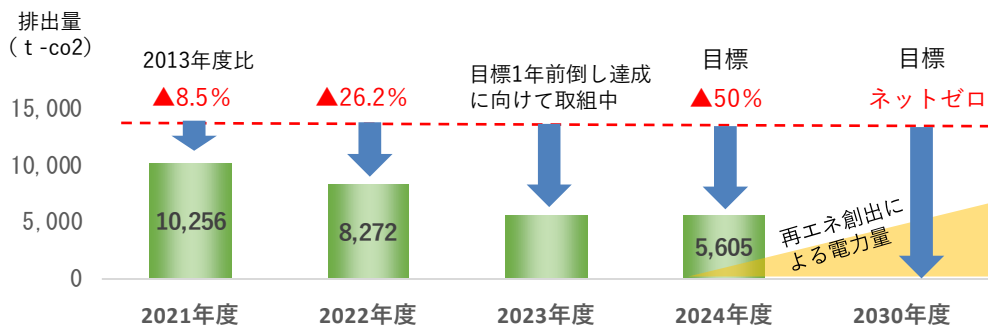
(単位：億円)

実行額	中計目標	23年3月期 計画	23年3月期 実績値	達成率
サステナブルファイナンス	5,000	1,328	2,662	200.5%
うち環境分野	3,000	670	1,160	173.1%
うち社会分野	2,000	658	1,502	228.3%

大企業だけでなく中小企業に対してもサステナビリティ経営の高度化支援に取り組んでいくため商品ラインナップの拡充を図っていく。

▶ 温室効果ガス排出量削減に向けた取り組み

2030年度までに、当行の温室効果ガス排出量を**ネットゼロ**にする
(中計目標として、2024年度までに2013年度比**50%削減**する)



● 主な施策

2022年	4月	・本店ビルに再生可能エネルギー由来の電力導入
	11月	・全店（一部除く）に電気自動車導入を決定
2023年	4月	・電算センターに再生可能エネルギー由来の電力導入
	10月	・高崎田町支店PPA電力供給開始予定

▶ みなかみ町活性化への取り組み

- 21年9月に、みなかみ町、株式会社オープンハウス、東京大学と**産学官金4機関**による「みなかみ町の地域活性化に関する包括連携協定」を締結。
- ・ 休・廃業した宿泊施設が目立つ水上温泉の再生に向けて、産学官金の各機関それぞれの垣根を越え強みを活かすことで**革新的な街づくりや観光産業創出**に繋げていく。
- ・ 本事例を県内の温泉（草津・四万・伊香保・碓氷等）にも展開していき、地域の活性化を目指していく。



「みなかみ町の地域活性化に関する包括連携協定」締結（21年9月）

▶ 「ぐんぎん尾瀬片品発電所」

- 環境価値を活用した再生可能エネルギーの地産地消

- ・ 東京発電株式会社が片品村に新設する水力発電所の**ネーミングライツ**（施設命名権）を取得。
- ・ 本発電所由来の電力を調達し、電力の地産地消を進めていく。
- ・ 北毛地区の支店（9カ店）及び電算センターで使用。
- ・ 小水力発電であるが、当行の**年間消費電力の約20%**となる年間約3,700MWhの発電量。



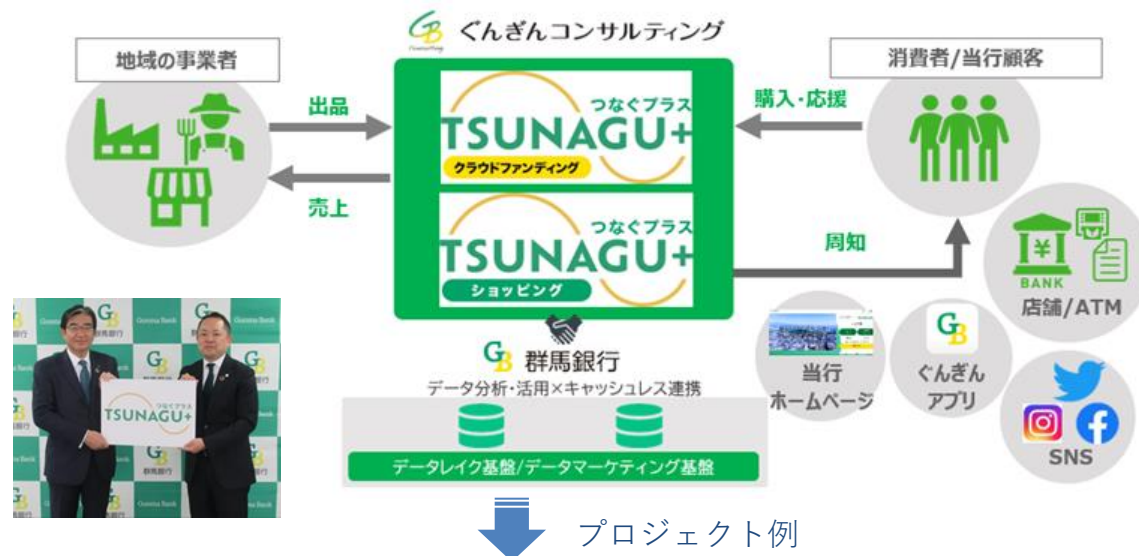
地域商社の取組み・社会貢献活動

▶ ぐんぎんコンサルティング(株)の新事業

● 地域商社

23年7月に購入型クラウドファンディングサイト「TSUNAGU+」(つなぐプラス)を開設。

- ▶ 県内主要産業を中心に取引先企業の販路拡大・認知向上や新商品のテストマーケティングの他、企業や地域、観光地等のファンづくりに活用。
- ▶ 「TSUNAGU+」に掲載した新たな地元の商材を中心に、常設販売の場としてECサイトを運営。行員向け斡旋商品や株主優待品などからも取扱商材拡大。



群馬クレインサンダーズ試合応援企画
(オープンハウスアリーナ太田)

▶ スポーツ活動への支援

● 「群馬クレインサンダーズ」をオフィシャルパートナーとして支援

11月5日(日)のホームゲーム名古屋ダイヤモンドドルフィンズ戦の観戦チケットの一部を上記、購入型クラウドファンディングサイト「TSUNAGU+」で販売決定。

● 「群馬銀行グリーンウイングス」の活動

バレーボールのVリーグ女子2部(V2)に参戦し、昨年シーズンは準優勝(2季連続)を果たす。バレーボール教室などを通して地域社会への貢献活動も積極的に展開。



▶ 芸術・文化活動への支援

● 「群馬交響楽団」の活動支援

群馬交響楽団に対し、定期演奏会を協賛するなど活動を支援。群響は地域社会に密着した芸術活動を行っており、地方における音楽文化の向上に貢献している。

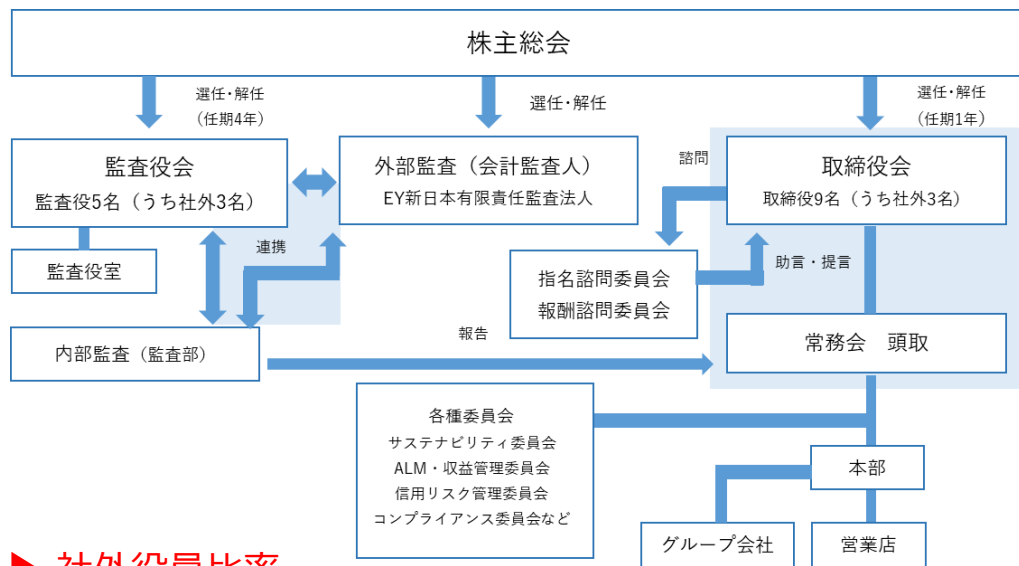


For "Purpose"

当行の経営体質の強化により、適切に、持続的に「つなぐ力」を発揮し、地域の未来をつむいでいく

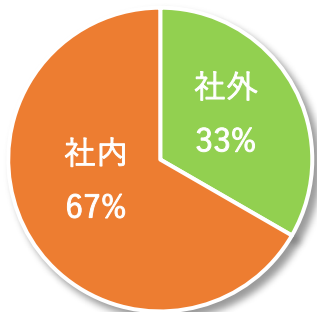
▶ コーポレート・ガバナンス体制

当行は監査役制度を採用し、監査役会は監査役5名（うち社外監査役3名）で構成。取締役会は、社外取締役3名を含む取締役9名で構成。

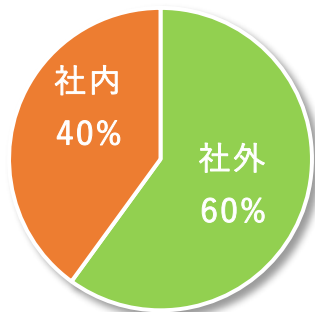


▶ 社外役員比率

● 社外取締役比率
⇒3名（うち女性1名）



● 社外監査役比率
⇒3名



▶ スキルマトリクス（専門性と経験）

● 社内取締役・社内監査役

氏名	地位	コーポレートガバナンス/サステナビリティ	地域経済	営業	市場運用	経営戦略/企画/規制対応/新規事業開発	人事	リスク管理	システム
堀江信之	取締役会長	○	○	○			○	○	
深井彰彦	取締役頭取	○	○	○	○	○		○	○
入澤広之	専務取締役	○	○	○	○	○			○
後藤明弘	常務取締役	○		○		○	○	○	
武井勉	常務取締役	○	○	○			○		
内堀剛夫	常務取締役	○		○	○	○			○
小坂橋信也	監査役			○	○				
武藤慶太	監査役			○				○	

● 社外取締役・社外監査役

氏名	地位	企業経営	金融	企業財務・会計	企業法務	マクロ経済	サステナビリティ	IT・デジタル・フィンテック	地域経済・行政
近藤潤	取締役	○		○					○
西川久仁子	取締役	○					○	○	
大杉和人	取締役		○			○			
田中誠	監査役			○					○
神谷保夫	監査役				○				○
笠原寛	監査役						○		○

※上記は、取締役および監査役が有する全ての専門性・経験・知見を表すものではありません。

本資料は、情報の提供のみを目的として作成されたものであり、特定の証券の売買を勧誘するものではありません。本資料に記載された事項の全部又は一部は予告なく修正又は変更されることがあります。

本資料には将来の業績に関する記述が含まれております。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化等により異なる可能性があることにご留意下さい。

本件に関するお問い合わせ先

株式会社群馬銀行 総合企画部（IR担当）

TEL 027-254-7051・7053